

まほるば



病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第65号

2006年11月発行

【コラム】弘前病院の目指すところ

人は誰も病気したいとは思いません。人は誰も病院に行きたいとは思いません。しかし、病気したら多くの人は病院を受診します。以前は病院は病気した人を治療するところでした。最近はこの考えは変わってきました。もちろん治療を行うことには変わりはありませんが、予防や治療した後の経過についても力を入れて行くようになりました。

当院では、地域の皆様に健康で生き生きした生活を送っていただくことを願って、色々なことを企画し実行しています。その一環として、病気の治療法や予防について理解していただくために、毎月「市民講座」を開催していますので、どなたでもお越し

下さい。また、病気が回復して自宅に戻ってからの社会生活に不安なく復帰できるようにお手伝いする「地域医療連携室」を設置して相談を受けていますので、どうぞご利用下さい。

これからも住み良い津軽地域の実現に向けて職員が一緒になってがんばりますのでよろしくをお願いします。

私たちは、健康な町作りを応援します。



院長 五十嵐勝朗

「瑞宝双光章」受章にあたり

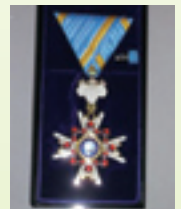


この度「瑞宝双光章」を受章することになり、身にあまる光栄と心より感謝申し上げます。

この叙勲は、手取り足取り指導して下さった先輩方、一緒に仕事に取り組んだ後輩の皆様や同僚、又職種間を越えて良い仲間に出会えたことは、私にとって大きな人徳につながり今日の栄誉になったと思っています。39年間の看護職を振り返りますと、前半は自分の思いを形に表すことができ、どんな状況においても楽しく挑戦してきました。後半は、家庭的にも不幸が続き、穏やかな生活とは行きませんでした。日々何か課題を見付け夢中に取り組む姿勢は、以前も今も変わらず自分の生き方だと思っています。他人から

見れば忙しい生活と見えるようです。

平成5年からは、社会情勢が一挙に変わり、国立病院と言えども厳しい運営を迫られるようになりました。どこの施設に転勤しても、病院存続、経営の見直し等に迫られ、職員一緒にこれならできそうと思う可能性に熱を入れて取り組んだのを思い出します。現在、私は社会福祉法人の施設で働いています。病院で働いていた当時の仕事量より膨大な量をこなさざるを得ない立場にいますが、何故か楽しく高齢者の支援をすることができています。今後は、施設の中だけでなく、地域の中に出向いて活動を続けて行くつもりです。



この度の叙勲に関しては、弘前病院で学び、働けたことを誇りに思い、感謝しています。

元看護部長 対馬 壽子

【職場紹介】母子医療センター



NICU を運営したことにより、産婦人科と小児科の密接で友好的なチーム作りを心がけています。

スタッフは、産婦人科医師3名、小児科医師4名、

看護師長以下30名で構成されています。最近の医師不足の問題は、当院でも抱えていますが、助産師・看護師もベテランの先生方を信頼し応援をしています。

最近、周産期の医療にとどまらず、親子の絆、赤ちゃんの健やかな成長を願い、「赤ちゃんにやさしい病院」(WHO/ユニセフ)の方針に添って産婦人科と小児科が一体となり、母乳育児の支援を行っています。まだ認定は受けていませんが、当院での取り組みは、利用していただいている妊産婦の皆様や地域のスタッフの皆様からも理解と賛同を得られつつあり、私たちの励みになっています。これからも益々地域の皆様に喜んでいただける医療を心がけて行きます。

看護師長 杉山 淳子

【市民講座】感染管理看護師の活動

感染管理活動は、病院感染の発生や伝播を予防し、①患者様を病院感染から守る、②職員及び院内に入りする方々を病院感染から守るために、医師や薬剤師・臨床検査技師・看護師・事務などの多職種によって感染対策をどのようにするかを相談して決定し、それを全職員で実践できるように働きかけます。

その中で、感染管理看護師は、患者様に最も近い医療者という立場から、患者様の視点で捉えた感染管理を進めます。看護師は、患者様への清潔維持の援助を通して療養環境を整えたり、常に患者様の状態を観察し、処置やケアによる感染の危険を予知し積極的に予防します。また、感染管理に重要な食事や清掃、洗濯、廃棄物なども、日常の看護実践に関連していることから課題が見えやすいと言えます。

こうした看護師の強みを生かし、それぞれの患者

様のケアを重視した感染看護の実践と、疫学的手法を用いて感染対策を実践して行くことが主な活動となります。

感染管理活動はまだこれからですが、12月からは『リンクナース』（各病棟の感染対策担当看護師）で組織する委員会を発足させることにより、私の仲間がたくさん増えます。

患者様と職員を病院感染から守るためにも、リンクナースとともに頑張りますのでよろしくお願い致します。

感染管理認定看護師 佐藤 直美



知っていますか？ —各種相談窓口—



（医療ソーシャルワーカー 小林）

『患者相談室』で、患者様から相談を受けている“医療ソーシャルワーカー（MSW）の小林”です。

医療ソーシャルワーカーとは、主に患者様やそのご家族の医療福祉的な相談をお受けする職種です。よくある相談として

は、「退院後、施設入所をしたいが、どのような施設があるのか?」、「在宅サービスを利用するにはどうしたら良いのか?」、「転院先を探さなければならないが、どこの病院に行ったら良いのか?」など入院・退院後の相談です。また、「手術費用はどの位かかるのか?」、「高額な請求が来たので高額医療費制度について知りたい。」など、医療費に関する相談も多いです。その他、小児慢性特定疾患や結核、特定疾患、自立支援医療などの公費申請手続きの代行、申請書

類などの説明も行っています。

このように、患者様やそのご家族の悩みごとに耳を傾け、ニーズを解決するためには、どのような社会資源（制度、施設、知識など）があるのか調査、情報提供、助言等を行っています。また、他職種や関係機関とも連携を取りながら、患者様に安心して治療を受けていただけるよう支援して行きたいと思っています。

相談の受付時間は、午前8時30分から午後5時15分（土・日・祝休み）までで、場所は、整形外科外来の隣りです。秘密厳守・無料ですので、どうぞ気軽に相談下さい。



（地域医療連携室のメンバー）

医療ソーシャルワーカー 小林 陽子

インフルエンザについて

インフルエンザの季節がまもなくやって来ます。

発熱や頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などが突然みられます。鼻咽頭ぬぐい液で迅速診断が可能です。タミフルやリレンザという薬は、インフルエンザウイルスのノイラミニダーゼの作用を阻害することによって、細胞内で感染増殖したウイルスが細胞外に放出されることを抑制し、抗ウイルス作用を発揮します。発症後48時間以内に治療を開始します。

ワクチンにより高熱などの症状を軽くし、合併症による入院や死亡を減らすことができます。解熱剤は、小児では、ライ症候群、脳症との関係からアスピリン、ボルタレン、ポンタールは禁忌で、必要ならアンヒバを使用します。予防としては、流行期に人ごみを避けること、マスクの着用、外出後のうが

いや手洗いの励行があげられます。

新型インフルエンザは、鳥から人への感染が認められています。変異により人から人に感染するようになると、免疫がないため世界的な大流行となり、数百万人ないしは1億人以上が死亡するだろうと言われています。SARSと異なり潜伏期から感染性を有するため封じ込めは不可能です。広範囲でほぼ同時に流行が起こるため、他地域からの応援は期待できず、地域ごとの対応が求められています。

院内感染対策委員長

小児科医長 杉本 和彦



外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2006年11月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	中畑元 (藤田均)	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 佐藤啓	野村由美子 大谷勝記	杉本和彦 佐藤啓	大谷勝記 野村由美子	野村由美子 杉本和彦
外科		山中祐治 坂本義之	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 山中祐治	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 坂本義之
整形外科	午前	柿崎寛 田中涼 上里大子	柿崎寛 工藤整	柳澤道朗 田中大	柳澤道朗 又は 田中大哉 奈良岡琢	柿崎寛 柳澤道朗
	午後	/	/	/	/	柿崎寛
脳神経外科		/	/	木村正英	/	/
皮膚科	午前	鳴海博美 大嶋英恵	大嶋英恵 鳴海博美	鳴海博美	鳴海博美 大嶋英恵	大嶋英恵 鳴海博美
	午後	/	●手術	鳴海博美	●手術	大嶋英恵
泌尿器科		橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘
産婦人科		真鍋麻美 工藤香里	佐藤春夫 工藤香里	真鍋麻美 工藤香里	●妊婦健診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央	●手術	黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	/	阿部由直 (午後)	/	/	/
麻酔科		●手術	工藤明	●手術	工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ②】臨床検査のABC

臨床検査には、「検体検査」と「生体検査」とがあります。

今回は、検体検査について紹介します。検体検査には、①一般検査、②血液検査、③生化学検査、④免疫血清検査、⑤輸血検査、⑥微生物検査、⑦病理検査があります。

一般検査

尿・便・髄液などを検査する。

血液検査

赤血球数・ヘモグロビン・ヘマトクリット・白血球数・血小板数・血液像などを検査する。

生化学検査

血液中の糖・肝機能・腎機能・膵機能などを検査する。

免疫血清検査

感染症（HBs抗原、HCV抗体など）、自己抗体などを検査する。

輸血検査

血液型、交差試験などを検査する。

微生物検査

採取した検体を培養し病気を起こす細菌や微生物を検出する。

病理検査

内視鏡や手術で採取した臓器（組織）の一部や細胞を顕微鏡で観察し、悪性細胞を見つける。



(イラストはサンケイカラー百科より)

★ 次回は、一般検査について、簡単に紹介します！

臨床検査技師長 高橋 俊英

色鮮やかに咲き競う菊花 —弘前城菊と紅葉まつり—



今年も弘前公園内弘前城植物園において、10月20日(金)から11月5日(日)までの間、「弘前城菊と紅葉まつり」が開催されました。

会期前半は週末になると天気が崩れ、今年はどうなることかと思いましたが、11月の連休には見事な秋晴れとなりました。

今年の菊人形は、NHK大河ドラマ『功名が辻』の場面を色鮮やかな菊の花で再現しており、お堀の水の上にも菊人形を乗せた三艘の舟を浮かべるといった趣向もありました。「着せ替え中」の札の出ている菊人形に出会うこともあります。会場内にはこの菊の着物の着せ替え作業を間近に見られる

所もあります。

菊人形用の菊は、花は小さくて数が多く、茎が柔らかくてよく曲がるものが適しているようで、根は付いたままの状態です。一体の人形に、40から50株の菊を使うそうです。普段あまり見られない作業ですので、暫し足を止めて見入ってしまいました。来年からは、まつりの見方もまた変わってきそうです。



庶務係 工藤 真淑

【ふるさと紹介】 青森県平川市

今年1月1日に平川市が誕生しました。

平賀・尾上・碓ヶ関合併協議会小委員会から報告された「津軽南市」、「平賀郷市」、「南津軽市」、「南津軽野市」、「津軽ひらか市」、「平川市」の6候補の中から新市の名称を選定することになり、最終的に「平川市」に決定しました。

平川市は、青森県南部、津軽平野の南端に位置し、東は十和田湖を境にして十和田市、秋田県小坂町、西は平川を隔てて弘前市、大鰐町と接し、北は、青森市、黒石市、田舎館村、南は、秋田県と接した鉾形をなしています。平川市の気候は、裏日本型気候



に属していますが、東に八甲田山、西に岩木山があり四方山々に囲まれていることから一年を通じて安定した気候で、しかも温度差が少なく

県内では恵まれている地域となっています。緑が多く、人々が快適な生活を送れる自然環境を保っており、四季の移り変わりが美しく、又自然災害も比較的少ない所です。



市内には、多数の温泉源を有し、様々な泉質と効果を持つ温泉施設があります。平川市内の観光をはじめ、弘前さくらまつり、十和田湖・八甲田の紅葉、青森ねぶたなどの観光の拠点に平川市温泉郷の宿泊施設は最適です。

- ◆写真は、今年5月27日に撮影したものです。
- ◆尾上地区には334の蔵があり、毎年5月の最後の土曜日と日曜日に『庭園と蔵めぐり』が行われています。
- ◆昭和20年頃、蔵は富の象徴であり、嫁取りのため道路際の目立つところに建っています。

庶務班長 田中 省剛

【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

手術した 膝を見せ合い 膝談義

花を見て リハビリ向かう 午後の2時

秋ばれに 夕日にうつる アキアカネ (堀越小学校4年 船水康輝)

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院

Hirosaki National Hospital

責任者 副院長 佐藤 年信

〒036-8545

弘前市大字富野町1番地

TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>